

# 肝炎インターネット講演会

謹啓 時下、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は弊社製品に関しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さてこの度、下記のテーマにて「肝炎インターネット講演会」を開催させて頂く運びとなりました。  
つきましては、ご多用とは存じますが、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

謹白

## 肝臓病治療UP to Date ～エレルサ®/グラジナ®によるC型肝炎治療と 肝線維化研究の最前線～

**日時** 2017年10月30日(月)

1回目：17:30～18:00 (講演 25分+質疑 5分)

2回目：18:15～18:45 (講演 25分+質疑 5分)

※1回目と2回目のご講演は同一の内容になります。

**場所** 学舎17階 肝胆膵病態内科学 教授室

**座長** 岡上 武 先生

大阪府済生会吹田病院 名誉院長

**演者** 河田 則文 先生

大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 教授

### 講演概要

C型肝炎に対するインターフェロンフリー治療が登場して約3年が経過し、多くの患者さんが経口薬のみで有効かつ忍容性の高い治療が受けられるようになった。2016年に登場したエレルサ®/グラジナ®併用療法は12週間の治療でジェノタイプ1型のC型慢性肝炎・代償性肝硬変に優れた効果が得られ、さらに腎機能低下例への有用性や薬物相互作用の観点から、治療対象がさらに広がったといえる。当院においても60例以上にこのエレルサ®/グラジナ®併用療法を行い、優れた成績が得られている。

一方で、ウイルスの持続感染のみならず、肥満や糖尿病等の生活習慣病から引き起こされる肝細胞の障害とそれに起因した炎症が関連する肝線維化メカニズムも存在し、ウイルス排除後に残存する線維化も併せて肝硬変、肝がんへの早期介入・治療が専門医の直面する重要な課題のひとつとなってきた。

本インターネット講演会ではC型肝炎のインターフェロンフリー治療の進歩と、残された課題である肝線維化についての最新研究について講演し、多くの先生方の肝臓病治療の参考としていただきたい。

※当日はお弁当をご用意させていただきます。